

令和4年2月13日

浜田市議会議長 笹田 卓 様

議員名 村武 まゆみ

調 査 研 究 活 動 報 告 書

下記のとおり調査研究のため視察を行ったので、その結果を報告します。

記

1. 期 間

令和4年1月29日(日)～31日(火)

2. 調査研修内容

- (1) 世田谷区と区民が協同で運営している子どもの遊び場について
- (2) 養護と教育が一体になった総合的な保育を実施している実態について

3. 研 修 先

- (1) NPO法人プレーパークせたがや(羽根木プレーパーク)
- (2) 新宿せいが子ども園

4. 調査経費 19,198 円

交通費	17,198 円
視察資料代	2,000 円

5. 調査研究活動の概要

別紙のとおり



【調査研究活動の概要】

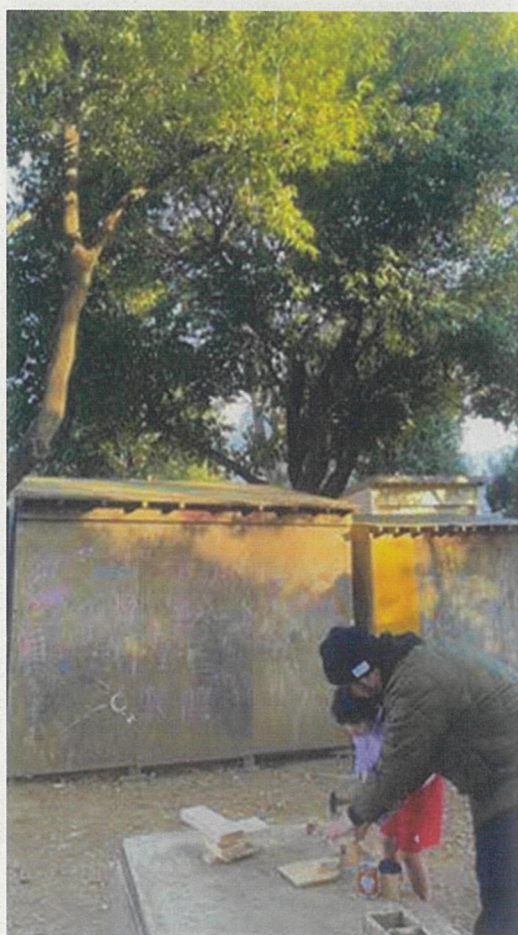
(1) NPO 法人 プレーパークせたがや (羽根木プレーパーク)

<概要>

- ・1975 年我が子の遊ぶ様子から子どもの遊び環境に疑問抱いた 1 組の夫婦がヨーロッパの冒険遊び場に感銘を受け、スライド上映会を開くなどして、地域の人たちに紹介。そこから遊び場を自分たちの手でつくろうとする住民が集まり、会が結成され、世田谷区内での遊び場づくりの活動が始まった。
- ・子ども達が自然と触れ合いながら自ら限界と可能性に挑戦しながら遊ぶことで、子ども達の生きる力を身につけて欲しいと理念を持ち、2005 年に NPO 法人を設立し、世田谷区から事業を受託し、区内に 4 つのプレーパークを運営している。
- ・区から受託費として、子ども達の遊びを見守るプレーワーカーの人件費、事業活動費。活動拠点の建物の建設費。公園の提供。
- ・プレーパークによって休園日はまちまちだが、週に 5 日から 6 日は開園している。平日は近くの保育園の子ども達が遊びに来たり、不登校の子や、未就学児の集まる場としても活動をしている。
- ・プレーパーク内には子ども達が自分で遊びを見つけ遊ぶことを、保護者やプレーワーカーは危険がない様に見守る。自分の責任で自由に遊ぶ。
- ・プレーパーク内の出入りは自由。
- ・焚き火あそび、どろんこあそび、木材などを使った物づくり。滑り台。ターザンロープなど。

<所感>

- ・子ども達の生きる力を育てるためには思いっきり外遊びをすることが重要だということで、区からの予算がついての遊び場というところが素晴らしいと感じた。
遊び場を維持するために NPO の方々やボランティアスタッフの思いがしっかりと行政にも伝わっている。
- ・視察した日は天気の良い日曜日だったので、延べで約 500 人の来園者がいた。
子ども達が自分たちの好きな遊びを一生懸命取り組んでいる姿が印象的であった。
都会ではなかなか体験できない環境だと思うが、あえてそれを作る必要性を感じていることが素晴らしい。
- ・浜田市においては自然豊かであるが、どれだけの子ども達が自然の中で思いっきり遊んでいるか疑問である。もしかしたら、都会に住んでいる子どもより自然の中で遊ぶ機会は少ないかもしれない。浜田市においても仕掛けをする必要があると感じた。こういう体験が子ども達の生きる力を育み、これからの時代特に必要な体験であると思う。





(2) 新宿せいが子ども園

<概要>

- ・新宿区の住宅地の中にある子ども園
- ・児童数 177 人

年齢	クラス別発達の特徴		定員
0 歳	ちっちゃなちっちゃな	ちっち組	21
1 歳	おおきくのびる	ぐんぐん組	30
2 歳	いつもわらって	にこにこ組	30
3 歳	とってもげんきな	わいわい組	32
4 歳	みんなでなかよく	らんらん組	32
5 歳	なんでもしよう	すいすい組	32
計			177

園長	副園長	事務長	保育士		
			常勤保育士	うち一時保育担当	非常勤保育士
1	1	1	28	2	若干名

看護婦	栄養士	調理員	用務員	属託医 (内科・歯科)	発達相談員
1	2	2	2	2	若干名

◆ 保育理念 「共生と貢献」

① 共生

他を受け入れ、共に生きていくなかで、それぞれの子どもが周りの すべての環境のなかで生かされていることを知り、自分も相手の存在を深め、 また豊かにしていくことができる社会づくり

② 貢献

さまざまな体験を通して得た知恵や知識を用いることによって、 よりよい共生を目指す(貢献)ことに喜びを感じる子ども

◆ 保育方針 「子どもの主体性を育てる保育」

- ① 子どもの主体的な活動としての生活を保障する保育
(生活をはぐくむ)
- ② 子どもの自発的な活動としての遊びを保障する保育
(自立をはぐくむ)
- ③ ひとりひとりの特性に応じた保育
(個性をはぐくむ)
- ④ 人とのかかわりを大切にした保育
(社会性をはぐくむ)

◆ 保育目標 「自分らしく意欲的で、思いやりのある子ども」

- ① 自ら課題を見つけ、自ら考え行動する子ども
(主体的に行動する子ども)
- ② やりたいことをやれる子ども
(意欲的な子ども)
- ③ 自分を好きになれる子ども
(自尊感情をもてる子ども)
- ④ 人の喜びを喜べる子ども
(思いやりのある子ども)

◆ 保育方法 「見守る保育」

- ① たてわりではない異年齢児保育
- ② 子ども主体の保育
- ③ ねらいに応じた選択制の保育
- ④ かかわりを大切にした保育
- ⑤ チーム保育(職員集団)

○ 保育過程の概念図

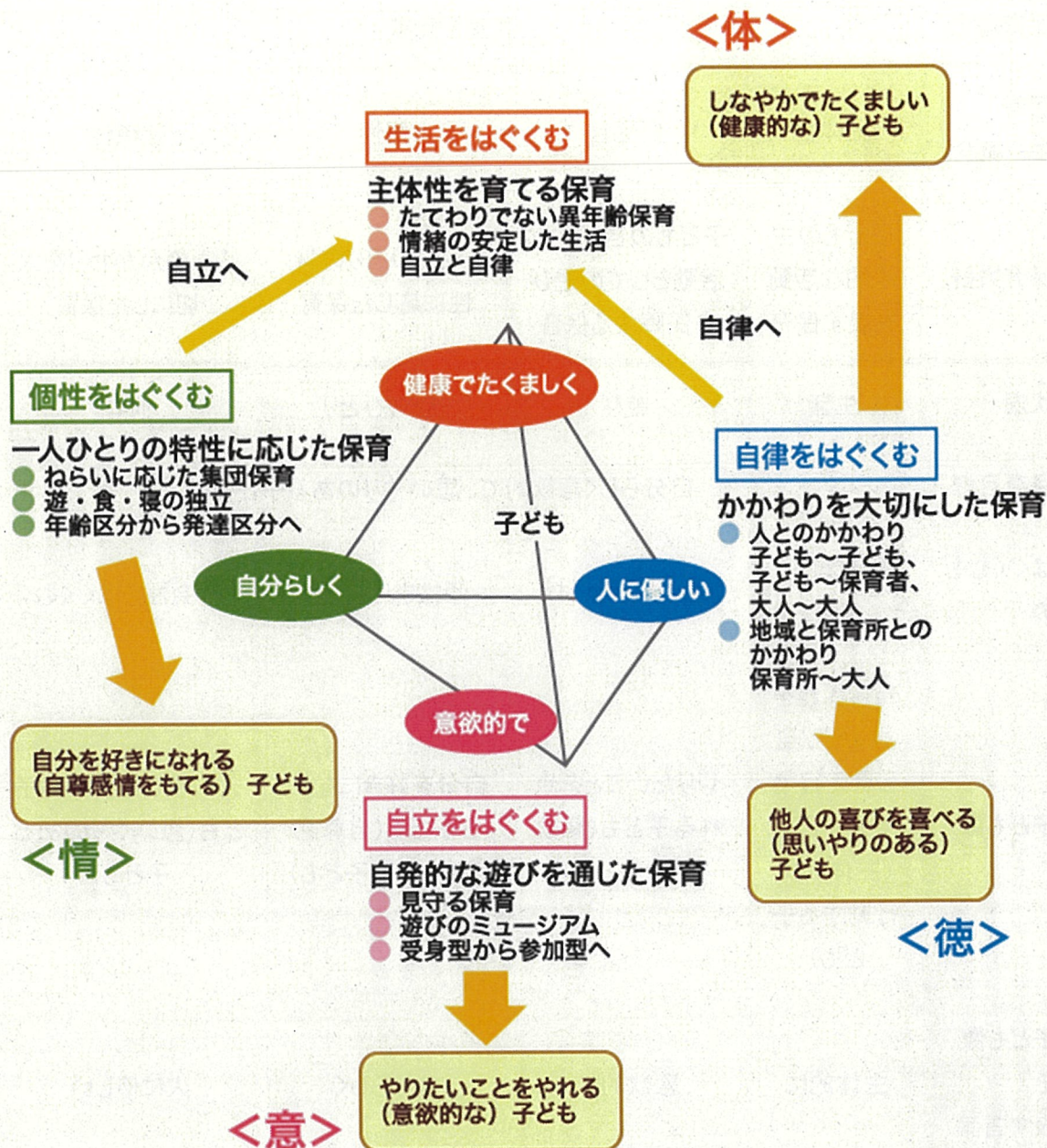
保育所 運営理念	少子社会とこれからの学力観の変化を検証して、 新しい幼児教育を提案する			
保育理念	共生と貢献			
保育 キー概念	主体性	自発性	個性	関係性
保育方針	子どもの主 体的な活動 を促す保育	子どもの自発的な 活動としての遊び を保障する保育	ひとりひとりの特 性に応じた保育	人とのかかわりを大 切にした保育
状況	生活	遊び	ひとりひとり	他者
保育目標	自分らしく意欲的で、思いやりのある子ども			
はぐくむもの	生活をはぐくむ	自立をはぐくむ	個性をはぐくむ	社会性をはぐくむ
子ども像	自ら課題を 見つけ、自 ら考え行動 する子ども (主体的に 行動する子 ども)	やりたいことをや れる子ども(意欲 的な子ども)	自分を好きになれ る子ども(自尊感 情をもてる子ども)	人の喜びを喜べる子 ども(思いやりのある 子ども)
子ども像 を 表す言葉	主体的に	意欲的で	自分らしく	人に優しい
保育方法 理念	MIMAMORU－見守る保育－			
保育方法	A たてわりではない異年齢児保育 B 子ども主体の保育 C ねらいに応じた選択制の保育 D かかわりを大切にした保育 E チーム保育(職員集団)			

保育計画が目指すもの・イメージ図」

「共育」による「共異体」の創造へ

個を否定する集団から、個を作る集団へ

経験による保育から、科学する保育へ



<所感>

・藤森理事長が建築家ということもあり、子どもの成長と空間を考えて保育をしているところに感銘を受けた。理念に基づく、保育方法として、見守る保育を保育士でしっかりと共有をし、徹底している。身も守るというのは、子ども達を保育士主導の保育より、より高度なスキルが必要である。子ども達の力を最大限に発揮できる様、園内のあちらこちらに仕掛けがしてあった。

・藤森園長の見守る保育と空間づくりが東京都でも注目されている様である。また最近では鳥取県日南町の幼児教育にも関わっているということで、日南町の保育士の受け入れや研修を実施している様である。浜田市でもぜひ講師として招き研修を実施し、浜田市の幼児教育の推進に役立てたいと強く感じた。



